

高松市エリアデザイン・アーキテクト プロフィール

眞鍋 邦大 (まなべ くにひろ)

龍谷大学経営学部 特任准教授／株式会社四国食べる通信 代表取締役

1978年 香川県高松市生まれ。博士（農学）。リーマン・ブラザーズなど複数の外資系金融機関を経て 2012年に小豆島に移住。(株)459を創業し、地域資源を活用したローカルビジネスの開発を手掛ける。2014年には、(株)四国食べる通信を創業

し、編集長として食材付きの情報誌である「四国食べる通信」を創刊。「四国食べる通信」は、かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ 2014の優秀賞を受賞。その後、第一子の誕生を機に妻の実家のある関西に拠点を移し、現在は龍谷大学経営学部で特任准教授を務めるとともに、複数の企業の役員として新規事業開発の開発や経営戦略の構築に携わっている。



坂口 祐 (さかぐち ゆう)

物語を届けるしごと／デザイナー
<https://yousakana.jp>

(高松市広報アドバイザー)

1980年 東京生まれ、神奈川県茅ヶ崎市で育つ。Iターンだが、曾祖父が高松市出身、祖母が高松に住んでいたことがある。慶應義塾大学 SFCにて、高速道路地下化に関わる都市研究と景観デザインを学ぶ。英国に留学しロンドン大学大学院でランド

スケープデザイン・建築設計を学んだ後、帰国。2010年に四国・瀬戸内に移住し、経済産業省 四国経済産業局にてウェブマガジン『四国びと』を担当。2014年に独立し、食材が届く情報誌『四国食べる通信』や瀬戸内海の島の暮らしを伝える雑誌『せとうち暮らし』などに写真家やデザイナーとして関わる。自信が運営する Web サイト『物語を届けるしごと』は世界 160カ国以上からアクセスがあり、四国や瀬戸内の魅力を四国外や海外に発信している。



湯川 致光 (ゆかわ よしあき)

株式会社 HYAKUSHO 代表取締役／立命館大学地域情報研究所 研究員／NPO 法人わがこと理事

1986年 東京都多摩市生まれ。東北大学法学研究科公共政策法専攻修了後（公共法政策修士）、神奈川県庁、香川県庁、高松空港株式会社を経て独立。地方自治体向けに官民連携まちづくりの実務的アドバイスなどコンサルティングを行う会社を運営する。専門は、都市公園の活性化や中心市街地の活性化などエリアマネジメントであり、多様な主体と連携した官民連携手法を提供する。結婚を機に、妻の実家である高松市に嫁ターン、現在高松市民 8年目。

